

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第1回宮古地域づくり協議会を次のとおり開催しました。

令和6年5月13日

宮古地域づくり協議会

1 開催日時

令和6年4月25日（木）13時30分から15時まで

2 開催場所

宮古市役所 5階 5－3会議室

3 議題

（1）令和5年度宮古市地域創造基金事業報告会

（2）意見交換

（3）その他

4 会議の概要

- 令和5年度宮古市地域創造基金事業の宮古地域分の地域活動枠（4件）について、事業報告を行った。

5 問い合わせ先

宮古地域づくり協議会事務局 宮古市企画部企画課地域創生推進室

電話 0193-62-2111（代表） 内線 4620 0193-65-7056（直通）

令和6年度第1回宮古地域づくり協議会

- 1 開催日時 令和6年4月25日(木)13:30～15:00
- 2 場所 宮古市役所 5階 5-3会議室
- 3 出席委員 戸由忍、中崎則男、小野寺靖、八島彩香、佐可野瑞穂、小地沢一郎、大上敦子
- 4 欠席委員 畠山初男、佐々木夏希、畠山亜紀、関口健
- 5 発表者 (1)昭和通りのおかみさんもてなしたい
佐々木慶子、松原安子
(2)津軽石郷土芸能団体協議会
館下光利、野崎政博
(3)津軽石駅にぎわいクラブ
白石雅一、野崎政博
(4)僕らの夏祭り実行委員会
伊藤峻
- 6 事務局 企画部企画課 箱石剛課長、竹田真吾地域創生推進室長、千葉志美主任
- 7 傍聴者 なし
- 8 議事等 13:30 企画課地域創生推進室長が会議の開会を宣言
13:31 会長挨拶
13:35 令和5年度宮古市地域創造基金事業報告会(4件)
14:55 その他
15:00 企画課地域創生推進室長が会議の閉会を宣言
- 9 結果 令和5年度地域創造基金事業実施団体が事業内容について報告し、質疑応答を行った。

質疑応答

質問・意見	回答
【昭和通りのおかみさんもてなしたい】 (委員) ボランティア参加者のコメントや飾ったお花を見た人の感想なども併せて報告してほしい。	(発表者) いろいろな声が届いているので、今後は報告したい。
【津軽石郷土芸能団体協議会】 (委員) これまでで一番成果が感じられた。 後継者の育成も大事だが、まだまだ今のメンバーで明るく頑張してほしい。そうすれば、若い人もついてくると思う。	
(委員) 津軽石限定ではなく他の地区の人も参加できるようにしてはどうか。	(発表者) 他の地区からも参加がある。制限はしていない。
(委員) 今の高校生は、Facebook・TwitterよりもInstagram等を利用している。そのような媒体を活用してはどうか。	(発表者) SNSの運用は、誰が記事を考えて投稿するかが課題である。
(委員) SNS運用の講座等を行われていないのか。	(事務局) 産業振興分野では、商店街向けのセミナー等が行われている。市民団体向けのセミナーがないか探してみる。
【津軽石駅にぎわいクラブ】 (委員) どのようなPRを行っているのか。	(発表者) 11月1日号の広報に情報掲載した。津軽石の住民にはチラシを配布し、ポスターを掲示した。 参加者数は、R4年度が約300名。R5年度が約500名。
(委員) 参加者は増やしたいと考えているか。	(発表者) SNSでも周知を行った。
【僕らの夏祭り実行委員会】 (委員) 首都圏からの大学生はどのくらい来たか。	(発表者) 車を停めるところがないので、今のくらいの規模が丁度良いと考えている。
【僕らの夏祭り実行委員会】 (委員) 首都圏からの大学生はどのくらい来たか。	(発表者) 現大学生は3～4名だったが、社会人の方は10名以上来てくれた。

(委員) 審査会の時に、大学生と一緒に遊ぶという話を聞いてとても良いと思った。今回そのような報告がないということはやはりコロナ禍を経て難しくなったということなのか。 (委員) 今後の展望は。 【その他】 (委員) 事業の検証について追加資料が欲しい。 審査会の時の資料もあると比較しやすい。 (委員) 成果が分かりづらい。 働いているNPO法人みやっこベースは、若者の活用という面で協力できるのではないか。 (委員) 基金事業として適合しているのか確認していく必要があると感じた。 (委員) 審査会の内容を資料に入れてほしい。	(発表者) コロナ禍を経て、首都圏の大学生が宮古の小中学生と遊ぶ「僕らの夏休みプロジェクト」ができなくなった。その影響で、宮古に来てくれる現役大学生が減った。 (発表者) 昨年度集客が悪かったので、実行委員会で開催時期を検討しているところ。9月か10月に開催できればと思う。
--	---